

2026 年 7 月 17 日

報道関係者 各位

食品産業盛んな群馬で「食健康」の博士人材育成へ

■ 2027 年 4 月 食健康科学研究科で博士課程設置へ

群馬大学は、2027 年度から大学院食健康科学研究科に博士課程を設置いたします。

本学はこれまで、地球温暖化、食料不足、環境汚染などの複合的な社会課題の解決に向け、「食」をテーマとした教育研究に取り組んできました。また、高齢化の進行や生活習慣病の増加など、健康を取り巻く課題の深刻化を受け、2017 年に「食健康科学教育研究センター」を他の国立大学に先駆けて設立。医科学・保健学・食品工学・食品生産工学を結集した研究・教育でリードしてきました。

一方、群馬県では食料品関連産業が輸送機器関連産業に次ぐ製造品出荷額を占めるなど、農畜産物を活かした食品産業が地域経済を支える重要な産業となっています。こうした背景のもと、本学は 2025 年度に大学院食健康科学研究科（修士課程）を設置。今回新たに博士課程を設置し、「食」と「健康」に関する高度な専門知識・研究能力を備えた博士人材の育成を行っていきます。なお、「食健康科学」での博士号は全国初となります。

〈 新たに設置する博士課程（博士後期課程※1）の概要 〉

研究科等の名称	食健康科学研究科
学位の名称	博士（食健康科学）
特色	食・環境・社会の健康を科学する
入学定員	4 名
標準修業年限	3 年（長期履修制度あり）

※1 博士課程の設置に伴い、区分制博士課程となるため、正式名称は博士後期課程になる。

〈（参考）：既存の修士課程（博士前期課程※2）の概要〉

研究科等の名称	食健康科学研究科
学位の名称	修士（食健康科学）
特色	食・環境・社会の健康を科学する
入学定員	40 名
標準修業年限	2 年（長期履修制度あり）

※2 博士課程の設置に伴い、区分制博士課程となるため、現行の修士課程は博士前期課程になる。

【学長コメント】

■ 群馬大学長 石崎 泰樹

群馬大学では、予測困難な時代に活躍できる高度専門人材の育成を目指し、大学院再編を通じて、研究科の枠を越えた分野横断的な教育・研究を強化しています。

本学が展開する食健康科学は、人、社会、環境の健康増進に資する食の生産、流通、消費について俯瞰的に学び、研究する内容となっており、国内でも特色ある教育・研究領域です。新たに設置する博士課程では、医科学、保健学、理工学などそれぞれの専門分野を基盤としながら、食健康科学に関する分野横断的な知識と研究力を備えた、次世代の食健康分野をけん引する人材を育成します。

地域・社会の「食」と「健康」を支え、食による持続可能な地域活性化と近未来社会創造に貢献することを目指し、大学一丸となって取り組んでまいります。

【研究科長コメント】

■食健康科学研究科長 粕谷 健一

食健康科学研究科では、2027（令和 9）年度に博士課程（博士後期課程）を新たに設置いたします。群馬大学では、食健康科学を中長期的に強化する教育研究分野の一つに位置づけ、「エンバイロメンタルヘルス」「ソーシャルヘルス」「ヒューマンヘルス」の 3 つのヘルスを柱として、食を通じた健康社会の実現を目指しています。本研究科は、この 3 つのヘルスを教育・研究・人材育成へとつなぐ中核的な場として、環境の健全性、社会の健全性、そしてヒトの健やかな生活を総合的に支える役割を担っています。博士課程（博士後期課程）では、医科学、保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学などを幅広く結びつけながら、科学的な根拠に基づいて食と健康の課題に向き合います。そして、健康寿命の延伸、地域産業の発展、環境にやさしい食の生産や材料開発などに貢献できる高度先端人材を育てていきます。食健康の探究を通じて、よりよい未来づくりに挑戦したい皆さんを、心よりお待ちしております。

〈 2027（令和 9）年 4 月入学試験に関する情報 〉 ※ 3

	食健康科学研究科（博士後期課程）
出願期間	2026 年 11 月 9 日（月）～11 月 13 日（金）（予定）
試験日	2026 年 12 月 11 日（金）（予定）
合格発表日	2027 年 1 月 15 日（金）（予定）

※ 3 日程は全て 2026（令和 8）年、現時点の予定であり、変更となる可能性があります。

後日、ホームページに募集要項を掲載しますので、詳細は必ず募集要項にてご確認ください。

〈 参 考 資 料 〉

- 教育研究組織再編の歩み
- 教育研究組織改革年表
- 食健康科学研究科の概要（概要・ヘルスプロモーションの実現・カリキュラムの特徴・入学試験）

〈 ホームページ 〉

- 全学ホームページ

<https://www.gunma-u.ac.jp/>

- 食健康科学研究科

<https://fphs.hess.gunma-u.ac.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学桐生地区事務部庶務係（金子）

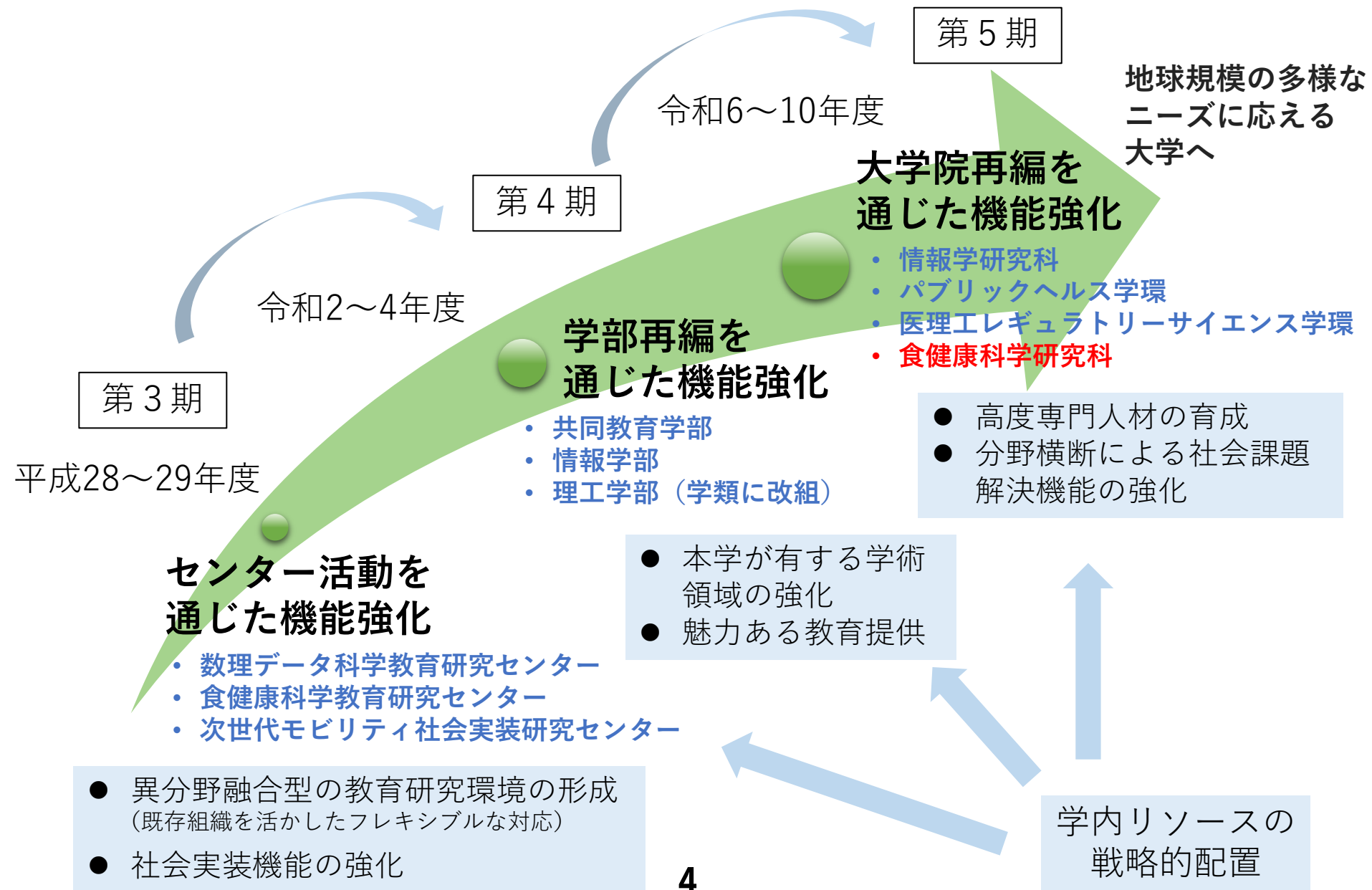
TEL：0277-30-1015

E-MAIL：kk-kogaku1@ml.gunma-u.ac.jp

【大学院入試に関するお問い合わせ先】

群馬大学桐生地区事務部入試・大学院係（武井）
TEL : 0277-30-1037
E-MAIL : kk-kogaku6@ml.gunma-u.ac.jp

教育研究組織再編の歩み



教育研究組織改革年表

第 3 期 中期目標・中期計画期間						第 4 期						第 5 期
2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
次世代モビリティ社会実装研究センター 設置												
数理データ科学教育研究センター 設置												
食健康科学教育研究センター 設置												
教育学部						共同教育学部 設置 (宇都宮大学と共同)						
社会情報学部／情報学部						情報学部 設置						
医学部	医療安全講座の設置											
理工学部						理工学部 改組・機能強化						
教育学研究科						教職大学院改組・拡充						
社会情報学研究科／情報学研究科								情報学研究科 (修士)		情報学研究科 (博士)		
保健学研究科								パブリックヘルス学環 (修士)		パブリックヘルス学環 (博士)		
医学系研究科								医理工レギュラトリーサイエンス学環 (修士)		医理工レギュラトリーサイエンス学環 (博士)		
理工学府												
食健康科学研究科									食健康科学研究科 (修士)		食健康科学研究科 (博士)	

食健康科学研究科の概要

- 社会の変化及び科学の進歩が著しい現在において、学問分野間の柔軟な連携に基づく発想力・俯瞰力が求められていることから、従来の学問分野の枠を越えた新しいサイエンスに資する人材を育成することで予測不能な社会を牽引していくことが求められている。
- 平均寿命が延びる中、健康寿命の延長を実現させる上で、食から健康を捉えることが重要であり、政府の「健康・医療戦略」においても、「健康に良い食」を科学的に解明しヘルスケアサービスに連結したビッグデータを整備するとともに、高度な生産流通システムの実現が求められている。
- 国際社会が一丸となって取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）に「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」が目標として設定されている。また、政府の「グローバルヘルス戦略」において、人の健康、動物の健康、地球環境の健康を一体化して考えることが必要であると提唱されている。食は人に健康をもたらすものであるだけでなく、地球規模の環境負荷及びエネルギー等の課題に関係している。
- 地域では食による健康増進、生産・流通過程の環境負荷低減、さらに高付加価値の食品開発による食品産業の振興などが求められている。

＜食健康科学研究科の特色＞

- ✓ 食と健康の関係性を科学的に解明することが可能となる。
- ✓ 医科学、保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学を基盤として、食健康に関する高度な専門的科学的リテラシーを持つ人材を育成する。
- ✓ 地域食品産業の課題解決および持続可能な食による地域活性化と未来社会創造に貢献する専門家を育成する。
- ✓ 内分泌代謝学に関する国内唯一の生体調節研究所及び生活習慣病解析センターとの連携により、生活習慣病に関する基礎医学研究を進めることができる。



食健康科学を基軸としたヘルスプロモーションの実現

10年後の大学ビジョン

群馬大学が有する教育・研究資源を結集し『食健康科学』を確立する。これにより、地域および地球規模での健康で幸福な社会の実現をけん引する大学としての地位を確立する。

群馬大学の強み

- ・内分泌・代謝学の共同利用・共同研究拠点〈ヒューマンヘルス〉
- ・ムーンショット事業（生分解性プラスチック）〈エンバイロメンタルヘルス〉
- ・国内唯一の大規模就労女性コホート研究〈ソーシャルヘルス〉
- ・次世代通信網を活用した地域課題解決〈ソーシャルヘルス〉

研究力の向上戦略

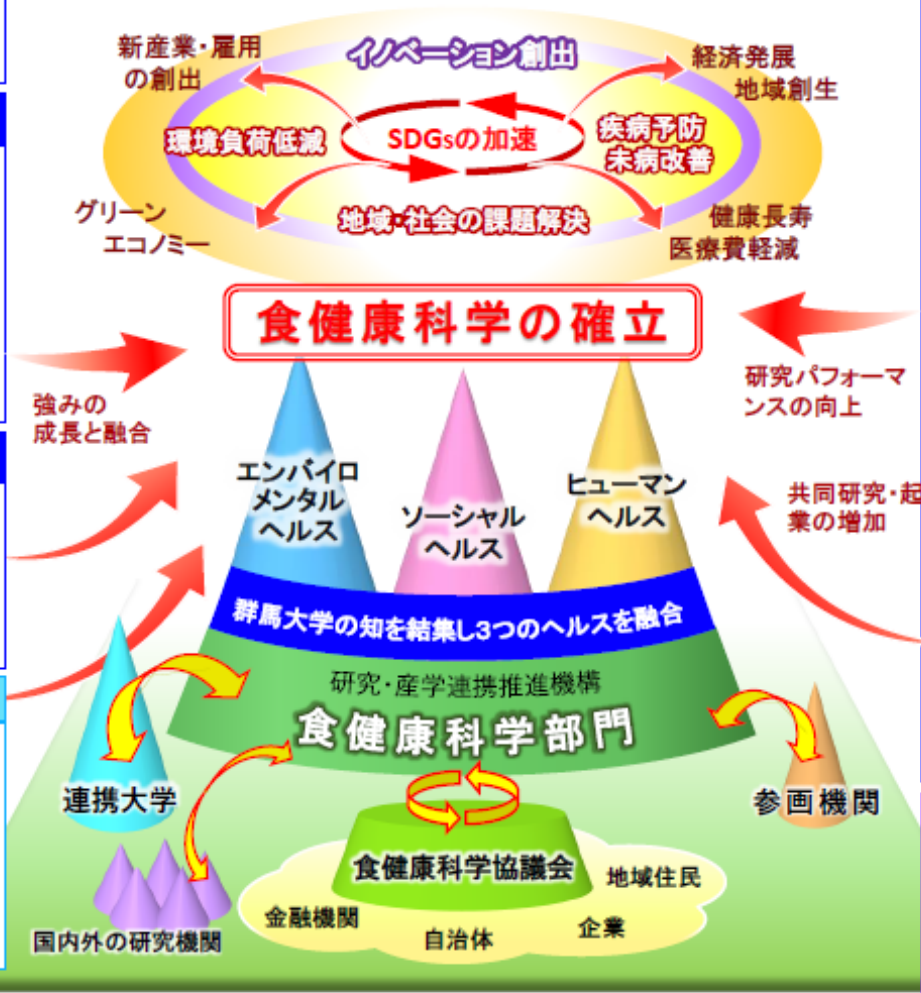
3つのヘルスを有機的に融合した学際的研究を推進し、成果を社会実装するための仕組みを補強する。

- ・食健康科学部門の設置
- ・食健康科学協議会の設置 他

連携による強化

- ・農学分野・環境影響評価の強化
- ・リソースの共有（大学院単位互換・OA加速化事業 他）
- ・学生交流・高度専門人材育成（多能工URA事業 他）
- ・ネットワーク拡大・アジアへの展開
- ・共同研究拠点の設置

人類・環境・社会の健康（健全）を追求する 持続可能な社会の実現



研究力強化の方策

食健康科学部門を核として、全学で制度・体制を改革・整備

研究者の育成・確保

- ・Top研究者制度創設と雇用
- ・研究教員／教育教員制度の創設
- ・留学生を含む若手研究者支援の拡充
- ・女性研究者支援の拡充

研究支援体制の強化

- ・URAの拡充
各部署への配置・連携、本部機能の強化（IR・マネジメント・広報）
- ・コアファシリティーセンター設置
共用機器の全学的管理・運営
- ・技術院設置
技術職員の一元化・育成・高度化
- ・教育・研究・事務のDX化加速

社会実装の推進

- ・スタートアップ支援（UIEの活用等）
- ・知財マネジメントの強化

食健康科学協議会の設置

異分野融合の「食健康科学教育研究センター」の機能を拡充し、産官民金との連携・協働を拡大・強化

主なアウトプット・アウトカム指標

- ・研究者層の厚みとパフォーマンスの向上による研究成果（シーズ）の増大
→論文数・特許出願数の増加
- ・研究成果の社会導出（地域・社会課題解決）
→スタートアップ創出・共同研究・自治体関連事業の増加

【群馬大学の提案内容の概要】

食健康科学研究科（博士後期課程）カリキュラムの特徴

食品工学系

健康科学系

必修科目

- 食健康科学専攻リサーチプロポーザル
- 国際リサーチコミュニケーション
- 食健康科学研究特別実験
- 食健康科学研究特別演習

選択科目 (専門)

食品工学系

- 環境材料科学特論
- 食品プロセス工学特論
- 食品高分子特論
- 食品分析科学特論

健康科学系

- 食健康科学特論
- 栄養代謝学特論
- ヘルスサイエンス研究特論
- 統合予防健康科学特論

就業力

- 専門実践インターンシップ
- 実践アントレプレナーシップ特論
- 実践グローバル研究特論
- 研究人材就業力養成基礎
- 実践研究リーダーシップ特論

選択科目 (インテンシブ)

- 食健康科学概論
- 食品生産工学特論
- 食健康医科学特論

※選択（インテンシブ）は修了要件外、本研究科博士前期課程を修了していない他大学院出身者が主指導・副指導教員の指導に基づき履修。

カリキュラムの特徴

- 食品工学領域と健康科学領域の2領域にまたがる分野横断的なカリキュラムを編成しており、学生は所属領域によらず両領域の知識を身に付けることができる
- 学生は各領域から1名ずつ選出された主指導教員及び副指導教員の指導を受ける。また、特別演習の中間審査においては、指導教員とは異なる領域の副指導教員が主査を務めることで、分野横断的な評価が行われる。
- 就業力科目（専門実践インターンシップ等）により、アカデミア以外に、産業界・行政・起業等の多様なキャリアパスで活躍するための実践的スキルを修得することができる。
- 外部の他大学院等からの入学者には、選択科目（インテンシブ）として「食健康科学概論」等を提供し、博士後期課程で求められる食健康科学の基礎的専門知識を補完し、多様な学修歴を持つ学生に学修の質を確保することができる。

上記により、学生は博士前期課程において培った専門分野の研究能力をさらに深めるとともに、食健康科学に係る学際的な知識・視点を身に付けることで、食健康科学のイノベーションを創出できる高度先端人材として活躍することができる。

食健康科学研究科（博士後期課程）入学試験

●入学試験概要

募集人員：4名

出願期間：11月9日（月）～11月13日（金）（予定）

試験日：12/11(金)（予定）

試験会場：群馬大学桐生キャンパス

試験内容：口頭試問

※ 募集要項については、ホームページでご確認ください（9月中旬公開予定）。

●育成する人材像

食健康科学分野における総合的および高度な科学リテラシーを有しており、これらを活用して社会的ニーズを踏まえつつ、産業振興や健康長寿社会創出に貢献できる人材、高付加価値の食品開発、食品の先端加工・製造技術の開発、食に関連した健康増進・健康寿命延伸の分野の高度専門家として地域及び世界において先導的な役割を果たすことができる人材、高い倫理観とコミュニケーション能力を有し、多様な社会課題の解決に貢献することができる人材を養成する。

●修了後の主な進路

大学・研究機関、官公庁、自治体、医療機関、食品製造業、医薬品製造業、化粧品製造業、産業用電気機械器具製造業など

●学位

博士（食健康科学） Doctor of Philosophy in Food and Population Health Sciences